

# 校内研修計画

山梨市立加納岩小学校

## 1. 学校課題

仲間とかかわり合う中で互いに認め合い協力し合う活動を展開してきたことにより、信頼関係や学級所属意識が高まり、個々の持っている力を発揮できるようになるなど、「学び合う学級集団」が育ちつつある。しかし、年々学年・学級内に学習面や生活面での困難さを抱える児童が多くなり、規律が守れなかったり、人間関係が良好につくれなかったり、自分の思いを伝えられなかったりする児童も見られるようになってきた。

そのため、実態把握や課題を明らかにし、互いに認め合い高め合うことのできる学級集団づくりをベースにしながら、自分の考えをしっかりと持たせ表現できる力を育成する取り組みが必要である。

## 2. 研究主題

「意欲的に伝え合う力の育成」

－ 思考・表現等を重視した授業の工夫や改善を通して －

## 3. 主題設定の理由

今回の学習指導要領の改訂では、児童生徒の課題を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能を発達の段階に応じて徹底習熟させること、さらに、知識・技能の活用を図る学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむこと、主体的に学習に取り組む態度を養うことが目標として提示されている。児童の思考力・判断力・表現力をはぐくむにあたっては、学習活動の基盤である言語に関する能力を重視し、言語活動を充実することとしている。

本校ではこれまで、仲間との関わり合いの場における「話し合いの工夫」をすることで、意欲的に他と関わり合いながら学び合う子どもの育成に取り組んだ。その結果、子どもたちは自分なりの考えを持ち、主体的に学習や活動に臨むようになってきた。また、相手を意識しながら伝えることができるようになってきた。

H24年度には、「意欲的に伝え合う力の育成」を主題として、学習意欲の向上や言語活動の充実を意識し、思考・表現等を重視した授業づくりに取り組んだ。これまでの取組の中で、学習課程の中に交流の場を設定していくことの有効性は確認されているので、更に伝える相手を意識しながら分かりやすく伝えることや相手の考えを理解し認めようとする態度を育てるための取組を進めてきた。そのための工夫としてICTの利用による「視覚化」や「操作化」などを取り入れた授業の実践が多く報告された。また、教師自身、互いに学び合うことで資質向上にもつながった。

本年度は、今年から3年間にわたる道徳推進校の指定をうけたこともあり、これまで取り組んできた“互いの考えを交流し伝え合う授業の工夫”を生かし、道徳の特性や児童の発達の特性に応じた授業の工夫や改善を図るための研究を進めていきたい。

## 4. 研究の具体的内容と方法

### (1) 内容

ア：道徳の特性や児童の発達の特性に応じた授業の工夫や改善を図る。

①指導法の工夫 ・学習課程の工夫 発問構成 話し合い 表現方法  
・教材・教具の工夫 資料活用 人材活用等

②ICTの活用

③主体的に取り組む態度・意欲を育てるための評価の工夫 ワークシートの活用 など

イ：授業づくりを成立させるための土台づくりとして集団づくりに取り組む

- ・実態把握を課題を明確にし、努力目標を立て各学級ごと取り組む。

(2)方法

- ①基礎研究，理論研究を積む。
- ②アンケート調査による児童と学級集団の実態を把握する。
- ③3部会に分かれ，実践的研究を進める。
- ④各部会で1本ずつ提案授業として全体に提案し，学習会をする。
- ⑤一人一実践をし，全体に報告する。(集団づくりとして取り組んだ実践事例も含めて報告する。)
- ⑥授業・集団づくりのための研修会やミニ学習会をする。

## 年間校内研修計画

研究主任 広瀬きよ美

研究テーマ	教科領域	担当者	学年	時期	T C要請
意欲的に伝え合う力の育成   思考・表現等を重視した授業の工夫や改善を通して	研究推進委員会 研究主題・副主題の設定	研究主任	全体	4月	
	研究仮説・構想・内容・方法・組織・年間計画の検討 Q-U調査Q-U分析，道徳意識調査 学習会	研究主任 研究主任	全体 全体	5月	○
	部会別研究 ミニ研修会・部会別研究	各部部长	各部会 全体	6月	
	部会別研究	各部部长	各部会	7月	
	研修会（講師招へい）・部会別研究 部会別研究	研究主任、各部部长 各部部长	全体・各部会 全体・各部会	8月	
	部会別研究	各部部长	各部会	9月	
	授業案検討 研究会・部会別研究	各部部长提案者長 研究主任・部部长	低・中・高 全体 各部部长	10月	○
	公開授業・研究会	研究主任・各部部长	低・中・高	11月	○
	Q-U調査Q-U分析（2回目） 一人一実践のまとめ			12月	
	部会別研究のまとめ	各部部长	各部会	1月	
	部会交流 研究のまとめと反省 来年度の研究の方向性 研究紀要の作成	各部部长 研究主任	全体	2月	
	研究紀要の作成			3月	